

このたびは、ミツバ「タッチdeドア」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。
(取り付け方法は付属の「車種別取付説明書」をご覧ください。)
本書を最後まで必ずお読み頂き、商品をお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1 注意事項

ここでは、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

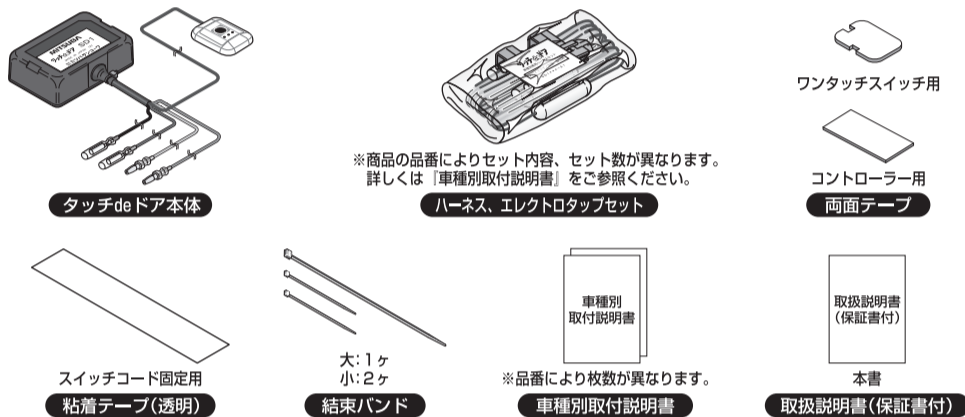
警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

- 本品の操作による電動スライドドアの作動条件は、お車の電動スライドドアの作動条件に従います。詳しくは、お車の取扱説明書をお読みください。
- 本品を操作して電動スライドドアを開閉するときは、スライドドアのドアハンドルを操作するときと同様に、お車の取扱説明書に記載されている注意事項に従い、周囲の安全を確認してください。
- お子さまが操作するときは、必ずおとなの方が付き添い、周囲の安全を確認してください。特にスライドドアを開閉するとき、手足や頭、首などを挟み重大な障害を負うことや最悪の場合死亡につながる恐れがあります。
- 本品を車室内に取り付け操作した場合、スライドドアのチャイルドロックの施錠、開錠の状態に関係なく、電動スライドドアの作動条件内にあるときは、電動スライドドアが作動します。お取り扱いには、十分注意してください。
- 本品の使用中に発生した事故に対し、本品の動作の有無にかかわらず、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

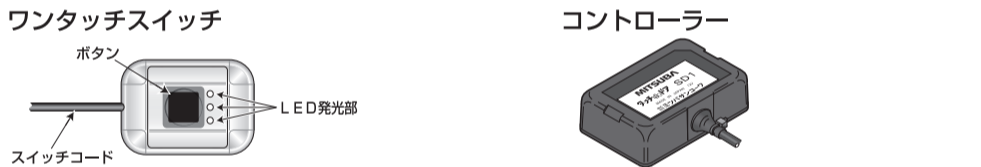
注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあります。

- 定期的に本品のスイッチ及びスイッチコードの取り付け状態を確認してください。脱落した状態で使用すると、本品やお車の破損、故障や事故の原因となります。
- 本品の分解、改造は絶対におこなわないでください。また、本品に衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本品の不具合については、弊社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。

2 セット内容



3 各部の名称



4 主な仕様

※商品の仕様及び外観は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●主な仕様		●各部寸法・重量	
定格電圧	DC12V	ワンタッチスイッチ外形寸法	W35×H25×D5mm (突起部は除く)
使用電圧範囲	DC9~16V	コントローラー外形寸法	W50×H38×D18mm (突起部は除く)
消費電流	待機時: 1mA以下 作動時: 80mA以下	スイッチコード長	約2m
動作温度範囲	-20~85℃ (凍結なきこと)	本体重量	約52g
保存温度範囲	-30~85℃		

5 動作に関する注意事項

- 本品の操作による電動スライドドアの作動条件は、お車の電動スライドドア作動条件に従います。主に以下の条件に1つでも該当する場合は、本品の動作に関わらず電動スライドドアは作動しません。
 - 電動スライドドアのメインスイッチがOFFのとき。
 - スライドドアが施錠されているとき。
 - 車速が3km/h以上のとき。
 - イグニッションスイッチがONの状態、シフトレバーがP以外のときにパーキングブレーキまたはフットブレーキがかかっているとき。
 - 給油口が開いているとき。(途中まで開く車種もあります。)
 - バッテリーの電圧が低下しているとき。
 - 電動ドアクローザーが作動しているとき。
 - その他、電動スライドドアシステムの安全機能が働いているとき。
- ※上記は一例です。車種により条件が異なりますので、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。
- 電動スライドドアの作動条件外のときにボタンを押した場合、電動スライドドアは開閉しますが、ワンタッチスイッチのLEDは点滅します。
- 本品は、安全のためボタンを操作した後LEDが点灯してから約1秒間は、ボタン操作を受け付けません。
- ワンタッチスイッチやドアハンドル、キーレス、運転席の開閉スイッチの操作で電動スライドドアが自動で開閉出来ない場合は、電動スライドドアの作動条件を確認してください。また、電動スライドドアのメインスイッチを一度OFFにし、スライドドアを手動で完全に閉めた後に電動スライドドアのメインスイッチをONにして、電動スライドドアの自動開閉動作を確認してください。

6 使用上の注意事項

- 本品のスイッチモードの設定状態に関係なく、誤ってボタンの操作をしないように十分注意してください。特に車室内で小さなお子様か誤って操作しないように、運転中は電動スライドドアのメインスイッチをOFFにするなど、電動スライドドアが作動しないようにしてください。
- お車を洗車するときは、必ずスライドドアのメインスイッチをOFFにするか、ドアを施錠してください。
- ワンタッチスイッチは防水構造になっていますが、高圧洗浄機の水や細く絞ったホースの高圧水を直接掛けたり、水に沈めたりしないでください。誤作動や破損、故障の原因となります。
- ワンタッチスイッチの構造上、内部に水滴が入ったりLED発光部が曇ることがありますが、そのままお使い頂けます。
- ワンタッチスイッチが凍結した状態ではボタンの操作をしないでください。破損や故障の原因となります。
- ワンタッチスイッチに泥や砂利が付いた状態でボタンの操作をしないでください。傷や破損、故障の原因となります。
- ワンタッチスイッチやスイッチコードにカーシャンプー、ワックス、コーティング剤をつけたまま、長時間放置しないでください。変色や変質により破損や故障の原因となります。付着した場合はすぐに拭き取ってください。
- 万が一、本品の故障によりお車のドアノブ操作等で、電動スライドドアが自動で開閉出来なくなった場合、電動スライドドアのメインスイッチをOFFにして、手動でスライドドアの開閉をおこなってください。

7 操作方法

1. スライドドア開閉操作

- ① ワンタッチスイッチのボタンを押します。
 - 「短押しモード」(初期設定) …… 約0.1秒以上
 - 「長押しモード」 …… 約1秒以上
 - ② 電動スライドドアが開閉し、ワンタッチスイッチのLEDが約3秒間、流れるように点滅します。
-

2. スイッチモード設定切替手順

注意

- スイッチモードの設定切替時は、必ずお車の電動スライドドアのメインスイッチをOFFにしてからおこなってください。設定切替操作中もスライドドア開閉信号が出ていますので、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 動作確認をおこなうときは、スライドドアのドアノブを操作するときと同様に、お車の取扱説明書に記載されている注意事項に従い、周囲の安全を確認してからおこなってください。

- ワンタッチスイッチの取り付け場所やお車のご使用状況に応じて、2つのモードを切替出来ます。

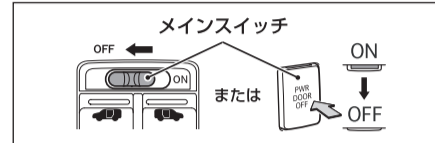
- ① 「短押しモード」…… ボタンを押してすぐに電動スライドドアを開閉 (初期設定)
- ② 「長押しモード」…… ボタンを約1秒押し続けた後に電動スライドドアを開閉

メモ

- 車室内にワンタッチスイッチを取り付けた場合、「長押しモード」に設定することで誤ってボタンを押してしまったり、荷物が触れてボタンが押されてしまうなどの、意図しないボタン操作に対し、電動スライドドアの誤作動を低減することが出来ます。
- 初期設定では「短押しモード」に設定されています。
- 整備等で車内のバッテリー端子をはずしたりして、本品の電源が切れた場合は「短押しモード」に戻ります。

ステップ 1

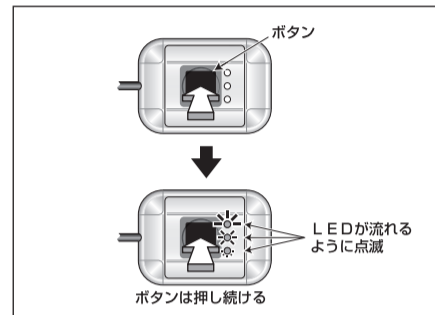
- お車の電動スライドドアのメインスイッチをOFFにします。
- ※図は一例です。詳しくはお車の取扱説明書をご確認ください。



ステップ 2

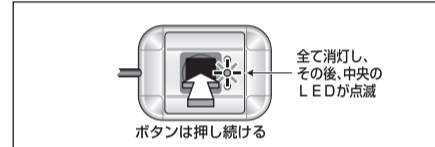
- ワンタッチスイッチのボタンを約10秒間押し続けます。

- 「短押しモード」から「長押しモード」への切替時
※ ボタンを押すとLEDが約3秒間流れるように点滅します。
- 「長押しモード」から「短押しモード」への切替時
※ ボタンを押してから約1秒後、LEDが約3秒間流れるように点滅します。



- LEDは途中消灯しますが、ボタンを約10秒間押し続けると、中央のLED1つが点滅します。(約2秒間点滅)

- ※ 中央のLED1つが点滅する前に、ボタンを放してしまった場合、ステップ2から操作をやり直してください。



ステップ 3

- LEDが点滅したら一度ボタンを放し、点滅中にもう一度ボタンを押します。

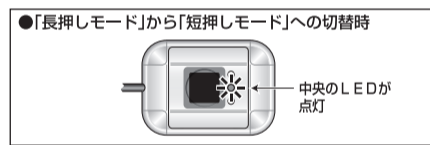
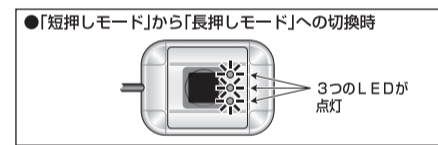
- ※ 中央のLED1つが点滅中に、もう一度ボタンを押さなかった場合、切替前のスイッチモードを維持します。ステップ2から操作をやり直してください。
- ※ ボタンを放している時間が極端に短い場合、もう一度ボタンを押してもモードが切り換わらないことがあります。



- LED点滅中にボタンを押すと、切り換えたスイッチモードに応じ、下記のLED点灯動作をおこない終了します。

- 「短押しモード」から「長押しモード」への切替時
※ 3つのLEDが約2秒間点灯し、「長押しモード」への切り換えは終了です。

- 「長押しモード」から「短押しモード」への切替時
※ 中央のLED1つが約2秒間点灯し、「短押しモード」への切り換えは終了です。



調査及び修理をご依頼の前に

- 調査及び修理をご希望される場合には、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートセンターまでご相談ください。
- 不具合の内容によっては保証対象外となる場合があります。保証範囲について下記の保証規定をご確認ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- 弊社では、商品の調査時の代品等の貸し出しは一切おこなっておりません。

<< 保証規定 >>

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させていただきます。

修理の際は、タッチdeドア本体に本保証書と不具合内容を記入したメモを添えて、お買い上げの販売店様にご依頼ください。

- この保証書は、保証期間が満了したときに効力を失うものとします。また保証期間内であっても商品が日本国外に持ち出されたときは効力を失うものとします。(This warranty is valid only in Japan.)

- この保証書は破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので、大切に保管してください。

- 次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。

1. 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類を剥がした場合も含む)
2. お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
3. 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
4. 車種別取付説明書、取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
5. 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合。
6. 販売店様の押印またはレシートが無い場合。

- 付属品(両面テープ、固定用テープ、結束バンド)は保証対象外です。